

## **Analysis of Diaries and Comments on a Regional SNS** 地域 SNS における日記とコメントの分析

Tsutomu Suzuki

Transdisciplinary Research Integration Center (TRIC), Japan

東京電力福島第一原子力発電所事故によって、多くの市民が日常的な放射線被曝のリスクを意識しつつ生活するようになってきている。本報告では福島県いわき市の市民活動団体の SNS を取り上げ、そこに書き込まれた日記やコメントの分析からインターネット上での市民どうしのリスク・コミュニケーションについて考察する。この市民団体は低線量被曝から子供を守ることを目的として、放射線に関する情報交換や放射線の測定、除染活動などを行っている。会員は団体の設けた地域 SNS に参加し、自ら日記を書いたり他の人の日記にコメントを寄せたりすることができる。この日記は単なる情報交換の場としてだけでなく、健康被害への不安を共有することで会員相互の心理的ケアの役割も果たしている。このような市民どうしのコミュニケーションは科学者と市民の間のコミュニケーションとは違った意味でのリスク・コミュニケーションとすることができる。また地域 SNS を活用することで市民どうしのリスク・コミュニケーションを深めていく可能性を示してくれる。

本報告では SNS 上の日記へのコメントの書き込み履歴から、日記を通じた会員間のコミュニケーション・ネットワークを抽出し、社会ネットワーク分析を用いてその構造を明らかにする。また日記やコメントで使われる語彙を分析することで、参加者がどのような放射線リスクに関心を持っているのかを探る。SNS 上の日記の分析ではプライバシーの保護に留意する必要があるが、本報告ではコメントの書き込み関係や語彙使用を計量的な手法で分析することによって、プライバシーを尊重した分析を行っている。